





# 12.6 (金) 10:00 - 16:30

## FIKA カンファレンス

受付開始時間 9:30

◇ 読み書き計算など学習困難がある子どものための新しい学び方を体験する日

### 読み書き計算など学習困難がある子どものための 展示・セミナー・相談会

読み書きに困っている保護者や子どもたち、例えばこんな経験はありませんか？

- ◆書けるのだけど字が汚い。
- ◆丁寧に書けるけどスピードが遅い。
- ◆読めるのだけど、読み飛ばしが多い。
- ◆読んでいるつもりなのに、正確に理解できない。
- ◆答えは書くのに途中の計算式を嫌がる

このようなことがある子どもたちの中には、テストにおいて自分の頭で理解しているほどの十分な評価を得られないことがあります。そうすると自信を失い、勉強嫌いになっていきます。これは英語の読み書きになるとさらに深刻です。

彼らは反復して読み書き練習をしてもその努力ほど効果が上がらず、さらに読み書きが嫌いになるという悪循環が生まれます。まずは、子どもが負担なく楽しく読み書きできる環境整備とツールの提供が重要です。読み書きが苦手な子ども達には合理的な配慮の提供も行われるようになっており、入試での時間延長やワープロ利用などの事例も生まれています。

FIKA セミナーでは、読み書きに困難のある子どもの支援の考え方や具体的な事例の紹介セミナー、読み書きの苦手さを判定するツールや負担を低減するツールのデモなどがあります。お子様を連れての参加をお待ちしています。子ども達の学びの自信を取り戻す第一歩となれば幸いです。

Room 554	セミナー
担当講師への質問・相談は展示ブースでお声掛けください。	
10:00 - 10:30	<b>読み書きの苦手な子供の理解と支援 ～基礎編～</b> 平林 ルミ（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）
11:00 - 11:30	<b>読み書きの苦手な子供に合わせた教材とは？ ～基礎編～</b> 井上 賞子（島根県立意東小学校 教諭）
12:00 - 12:30	<b>英語の苦手な子供の理解と支援</b> 河野 俊寛（金沢星稜大学人間科学部 教授）
13:00 - 13:30	<b>入試における合理的配慮とは？</b> 河野 俊寛（金沢星稜大学人間科学部 教授）
14:00 - 14:30	<b>読み書きの苦手な子供の理解と支援 ～応用編～</b> 平林 ルミ（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）
15:00 - 15:30	<b>読み書きの苦手な子供に合わせた教材とは？ ～応用編～</b> 井上 賞子（島根県立意東小学校 教諭）

### 読み書き評価のためのアセスメント： URAWSS（ウラウス）など

河野 俊寛（金沢星稜大学人間科学部 教授）

読み書きに困難がある、というのは、読み書きの正確さと流暢さ（速度）に困難がある状態のことをいいます。読み書きの正確さと流暢さ（速度）は、簡単に測定することができます。そのためのテストを紹介します。それらのテストの中でも、流暢さ（速度）を計ることができるURAWSS（ウラウス）と、英語の読み書きの正確さを計ることができるURAWSS-Englishについては、実施方法と判定方法を具体的に説明しデモも行います。

### 読み書きを支援するツールやアプリ

平林 ルミ

（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）

読み書きの困難に対して、学習の遅れが生じる前の早期段階において、子どもが自分自身が学びやすい方法を自己決定していくことは学習の遅れを予防する上で重要です。読み書きが苦手な子どもにとって紙と鉛筆は学ぶ手段として適当でない場合があります。そこでタブレットPCがその代わりとなります。展示では、読み書きが苦手な子どもに役立つツールを紹介しながら、通常学級の中でタブレットPCを用いて学ぶためのステップを示します。

### 読み書きを支援する教材

井上 賞子（公立小学校 教諭）

今回展示させていただいている教材は、全てそれを使った「対象の子ども」がいるものです。「あの子がこの学習でこんな風に困っている」をどう支えて行けるかをスタートに考えたものばかりですので、汎用性にかける部分もあるかと思えます。ぜひ、「うちの子にはここがもっとこうだといいな」とか「あの子ならこの大きさでは難しいだろうな」と、目の前の子ども達の姿に照らしてご覧いただければと思います。多くの教材は、学研の「はじめのいっぼ!シリーズ」に、個々で作り変えていただけのデータごと載っていますので、ぜひ作って試していただければと思います。

展示は、教材を作るときに心掛けて「苦手さを補う」「多感覚を利用する」「確認する方法を持たせる」「解決への見通しを持たせる」という4つの視点にわけて並べています。

### 音声教材（電子媒体教科書）の デモ体験と入手方法

AccessReading

（東京大学先端科学技術研究センター 近藤研究室）

AccessReadingでは、読むことに困難のある児童生徒に向けた音声教材と呼ばれる教科書の電子データ（小・中・高）、課題図書などの一般書籍の電子データを提供しています。紙の教科書を読むことに困難のある児童生徒に対して、学習への参加、情報へのアクセスを保障する代替的アプローチの一つとして、iPadやWindowsPCなどのデバイスを活用して学習する方法などをご紹介します。

### 学びを支援するモバイル端末活用研究

魔法のプロジェクト（ソフトバンク株式会社）

魔法のプロジェクトはソフトバンクと東大先端研が推進する実証研究プロジェクトです。学ぶ意欲はあるが、他の子と同じ方法では難しい児童・生徒の学びを、テクノロジーで支援します。今年で10年目を迎え数多くの実証研究事例を公開しています。応募は先生もしくは自治体から毎年受付けています。学校にはテクノロジー環境が整備されていない、持ち込むことは難しい場合でも通信回線付きで機器の貸与を受け、実証研究として始める方法があります。

### デジタル教科書展示 光村図書出版

学習者用デジタル教科書（+教材）の展示を行います。デジタル教科書とは、教科書紙面をそのままデータ化したものに、音声やルビ、背景色変更などの機能が収録されているものです。教科書に準拠した動画や写真、様々なコンテンツなどが一体化された、デジタル教科書+教材もご紹介します。法改正がなされ、平成31年度より、紙の教科書と同等扱いになった「デジタル教科書」をぜひ体験しに来てください。

デモ・展示会場ではFIKA読み書きワークショップを実施します。会場内のクイズを解き、全てのスタンブ（シール）を集めると景品がもらえます。

鉛筆やノート以外の読み書き方法をゲット出来て、展示している内容がわかるようになっています。